

「膵頭十二指腸切除術周術期培養検査の結果が長期細菌性偶発症に与える影響を検証するための単施設後向き試験」について

1. 研究の対象

2014年1月～2025年12月までに当院で膵頭十二指腸切除術を施行した患者さん

2. 研究目的・方法

膵頭十二指腸切除術では短期偶発症のみならず長期偶発症として胆管炎や膵炎、敗血症などを生じる可能性があり、その管理は重要です。術前胆汁培養は周術期抗菌薬を選択に有用であることはすでいくつかの論文で示されていますが、周術期培養検査が長期感染性偶発症に与える影響はわかりません。

この研究では対象となる期間に膵頭十二指腸切除術を行った患者さんの電子カルテの情報を解析し、今後の診療に役立てたいと考えます。

研究期間は、病院長許可日から2028年3月31日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

・性別、年齢、術前培養検査の実施の有無とその結果、長期感染性偶発症(術後3ヶ月以降)の有無と培養実施の有無その結果

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

磐田市立総合病院 消化器内科 住所：静岡県磐田市大久保 512-3 電話：0538-38-5000

研究責任者：磐田市立総合病院 消化器内科 金子淳一